

事業所名

あしかが通園センター(児童発達支援事業)

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

3日

法人(事業所)理念		最も弱いものを一人ももれなく守る					
支援方針		生活リズムを身につけ、楽しい雰囲気の中で身体的・情緒的発達を促す					
営業時間		8時	30分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	【定期的な心身の把握】小さなサインから、心身の異変に気づけるように支援します 【生活リズムの安定】定期的な通所、生活習慣の形成、食事・排泄・着替えが身に着けるよう支援します 【基本的な生活スキルの獲得】医療的ケア児へ適切なケアを実施します 【その他】日々のバイタルチェック、定期的な身体測定、関節可動域の測定、年2回の健康診断を実施します。希望により、併設の病院でインフルエンザワクチン予防接種を受けることも可能です					
	運動・感覚	【姿勢・運動】日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、関節の拘縮や変形の予防のため理学療法士等リハビリテーション職員と協働し体操を行います 【保有する感覚の活用】日中活動を通して、保有する視覚・聴覚・触覚等を十分活用出来るよう支援します					
	認知・行動	【認知の発達と行動の習得】視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、認知機能が発達できるよう支援します。朝の会や帰りの会などをルーティン化させていくことで、イメージ、見通しが持てるよう支援します。制作活動では大小の選択、色の確認等取り入れながら支援します。日付や天気など絵カードを使用し、時間やまわりの状況を理解できるよう支援します					
	言語コミュニケーション	【言語の形成と活用】言語的コミュニケーションが苦手な重症心身障害児に対し、絵カードや表情・サイン・スキンシップ等様々な代替手段を活用して、周囲の状況を理解したり、自分の気持ちを伝えることをスムーズに行えるよう支援します					
	人間関係社会性	【アタッチメント(愛着行動)の形成・安定】触れる等のコミュニケーションを通して、環境や人に対する安心感、信頼感を育みます。身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人との安定した関係を形成できるよう支援します【自己の理解と行動の調整】一人一人の特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるよう支援します【遊びを通じた社会性の発達】遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。感覚・運動機能を使った遊びからごっこ遊び等の象徴あそびを通して、徐々に社会性の発達を支援します					
家族支援		定期的に、施設、保護者の意見交換の場を設け(懇談会)悩みや思いを共有できる環境を作っていく			移行支援		学校への情報提供、見学会、相談会への参加の調整
地域支援・地域連携		他施設との交流や、医療機関をはじめとする関係機関との連携を図り、地域で安心して過ごせるよう環境を作っていく			職員の質の向上		施設内外の各種研修への参加、定期的に職員会議を実施し職員主催の勉強会開催、個別支援計画評価会議での支援の振り返り、改善の実施。虐待防止研修を定期的に開催し、障害児の権利擁護、差別解消に対する知識を習得する
主な行事等		夏祭り、誕生会、映画会、ハロウィンパーティ、お正月あそび、豆まき、ひなまつり、戸外活動、お別れ親子遠足、卒園式					